

定 例 教 育 委 員 会 次 第

令和5年9月1日（金曜日）
13時00分～

1 開 会

2 前回議事録の承認

3 事務局報告（公開）

（1）令和6年度全国高等学校総合体育大会（SAGAインターハイ）における「佐賀県高校生活動」の概要について

（全国高校総体2024推進チーム）

（2）令和6年度佐賀県公立学校教員採用選考試験秋選考について

（教職員課）

（3）令和5年度全国中学校体育大会（結果）について

（保健体育課）

（4）令和5年度全国高等学校総合体育大会（結果）について

（保健体育課）

（5）第105回全国高等学校野球選手権大会（結果）について

（保健体育課）

（6）令和5年特別国民体育大会（燃ゆる感動かごしま国体）について

（保健体育課）

（7）次回定例教育委員会について

令和5年10月20日（金）14時00分～

（教育総務課）

4 議事（非公開）

付議第23号議案

県議会に提出する教育関係議案に対する意見について

（教育総務課）

付議第 24 号議案

佐賀県教育委員会表彰の被表彰者について

(教育総務課)

付議第 25 号議案

令和 4 年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告書について

(教育総務課)

定例教育委員会議事録（案）

- 1 期 日 令和5年8月21日（月曜日）
- 2 場 所 教育委員会室
- 3 参集者 甲斐教育長、牟田委員、加藤委員、飯盛（清）委員、飯盛（裕）委員、荒木委員、井上副教育長、嘉村副教育長、大橋危機管理・広報総括監、松尾総体2024 総括監、内田教育総務課長、近藤特別支援教育室長、岡教職員課長、原岡学校教育課長、江口保健体育課長 ほか

4 会議次第 別紙のとおり

5 会議の経過

(1) 開 会 10時00分

(2) 前回議事録の承認

このことについて、甲斐教育長は会議に諮り、委員会は承認した。

(3) 議事

【付第16号議案】

令和6年度佐賀県立高等学校入学者選抜実施要項について

このことについて、議案書により原岡学校教育課長が次のとおり説明し、委員会は協議の結果、議案のとおり決定した。

(原岡学校教育課長)

先日の臨時教育委員会において、高等学校の募集定員と特別選抜の募集人員等についてご承認いただいた。それらを踏まえてご審議いただきたい。資料16-3をご覧ください。各高等学校からくくり募集、追加問題の実施校、実技検査、傾斜配点の実施の昨年度からの変更点について、くくり募集に普通科3校が加わった。くくり募集については従来、専門学科のみで行っていたが、普通科、コースを置く学校でも行えることとする。追加問題について、実施校はない。実技検査については例年どおり、佐賀北高校と有田工業で美術系の実技検査を実施する。傾斜配点については、昨年、一昨年から変更なく、3校で実施する。巖木高校、太良高校の重点評価枠における傾斜配点についても従前どおり。

資料16-5は全体日程、資料16-6の上段は学力検査等の日程を記載。

資料16-6下段以降、実施要項の主な変更点について記載している。文言・語句の変更について、特別選抜におけるスポーツ推進指定校、文化芸術推進指定校の2つの柱で昨年度まで実施していたが、今年度から特色ある教育課程推進指定校を3つ目の柱を加えたことによる文言を変更。その他、帰国・外国人生徒等に名称を変更。

資料16-8において、部活動の名称の変更、クライミングをスポーツクライミング

に変更。先程説明したくくり募集の定義の変更。

資料 16-9・10 において、郵送料の変更、追検査の日程繰り上げによる変更。

資料 16-11・12 においても、郵送料の変更、追検査の日程繰り上げによる変更。

資料 16-13・14 においても、追検査の日程繰り上げによる変更。資料 16-13 中段において、辞退届・欠席届を提出する理由を定義し直した。辞退届は受験の意思がない場合に提出するもの、欠席届は受験の意思があるものの、病気等やむを得ない理由で受験できない場合に提出するものとし、それに伴い文言を変更。

追加の変更として、厳木高校、太良高校の重点評価枠に関する変更がある。応募資格として、発達障害のある者と要件があるが、その例として、LD、ADHD、高機能自閉症等の診断を受けている者、あるいは、本人・保護者が発達障害と認識している者と記載。高機能自閉症は現在、アスペルガー症候群や広汎性発達障害と併せて、一般的には自閉スペクトラム症という診断名になっているため、高機能自閉症を自閉スペクトラム症に文言を変更。以上、ご審議お願いしたい。

【付第 17 号議案】

令和 6 年度佐賀県立中学校入学者選抜実施要項について

このことについて、議案書により原岡学校教育課長が次のとおり説明し、委員会は協議の結果、議案のとおり決定した。

(原岡学校教育課長)

資料 17-2 をご覧いただきたい。出願書類のうち、受検票について、これまで受検票に志願者の写真を貼っていたが、写真の枠を削除する。中学校と高校の出願書類や要項の造りをできるだけ揃えるという考え。高校の受検票では写真を求めていないため、中学校でも求めないこととした。写真は出願書類等に含まないこととなる。

受検票送付用封筒については、郵便料金等の改定による切手の金額の変更。選抜手数料については、定額小為替で納付していたが、普通為替に変更することにより手数料が 50 円安くなるため、納付方法を変更する。

受検上配慮が必要な場合の取扱いについて、これまでは学校に連絡してほしいという程度の記載であったが、配慮の可否についての判断は佐賀県教育委員会で判断する旨を追記。配慮を行うことで、かえって他の生徒が不公平にならないかどうかの判断も必要となるため。例えば、書字障害等で書くことが遅いため、時間延長が必要となるケースの場合、時間を延長することで考える時間も長くなるため、どの程度の延長が必要なのか、そもそも延長が必要なのかなど総合的に判断する必要があるため、教育委員会で判断する旨を追記。この記載がなければ、配慮を申し出さえすれば、そのまま配慮してもらえとの誤解を招きかねない。

県外からの募集を中学校選抜でも枠を広げるが、県外からの志願者に対する受検上の配慮も対応が必要となるため、これまで記載していなかったものを今回記載する。

合格発表の時刻を 16 時から 9 時に変更する。二次選抜に係る記載を全て削除する。高校と同じく、追検査の日程を繰り上げたことにより、合格発表を 2 度行っていたも

のが1度で済み、選抜作業も1度で済むこととなるため、二次選抜に係る記載を全て削除する。

合格の手続きについて、内容の変更ではないが、入学辞退届書の様式が入手可能な場所の記載がなかったため、その旨記載するもの。志願先の県立中学校の事務室に備えていることを追記。

追加合格者の確定に関する情報について、各県立中学校ホームページに掲載することを追記。追加合格の候補者には事前に連絡しているが、例年、いつまで待てばよいのかという問合せが多いため、その対応のひとつとして、ホームページでお知らせする旨要項にも記載するもの。

追検査について、対象者に、新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者があったが、濃厚接触者の概念がなくなったため、削除するもの。高校入試では、公共交通機関の遅れ、その他本人の責任に帰さない事由も追検査の対象としており、中学校でもその旨追記する。

受検者への情報提供、いわゆる適性検査の得点状況のお知らせについて、昨年度までは希望する者に対して情報提供を行っていたが、今年度から基本的には全ての受検者に郵送による情報提供を行うこととし、希望しない場合のみ送付しないよう変更する。例年、九十数パーセントの受検者が情報提供を希望している状況に合わせて変更するもの。

県立中学校卒業後の進路について、中高一貫校であり、併設型中学校から併設型高等学校への進学が原則となるが、その原則がこれまで記載されていなかったため、明文化するもの。

追検査の日程を1つにまとめる。

様式について、追検査の日程繰り上げに伴う二次選抜に関する様式の削除、高校入試に合わせて不要な報告の回数を減らす方向での様式の削除、これまで男女別の報告を受けていたものについては男女の別を設けず報告するよう様式を変更。

【主な質問等】

(飯盛(清)委員)

配慮が必要な受検生について、これまでも申し出があった場合、出身の小学校に問い合わせていたのか。

(原岡学校教育課長)

出身の小学校を訪問し、当該児童の様子を見たうえで対応を判断してきた。

(飯盛(清)委員)

今回、文言を追記しているが、これまでと変わらずに対応することでよいか。

(原岡学校教育課長)

そのとおり。

(飯盛(清)委員)

結果の得点状況について、受検者の成績だけが記載されているとの認識でよいか。

(原岡学校教育課長)

そのとおり。

(飯盛(裕)委員)

卒業後の進路について、「原則」の定義をもう少し詳しく教えてほしい。

(原岡学校教育課長)

例年、他の県立高校や私立高校に進学したいとの相談があり、状況等聞いたうえで学校長が判断している。

(荒木委員)

様式の男女別の欄を削除することについて、多くの様式があるようだが、どのような様式の男女別の報告が不要と判断したのか。

(原岡学校教育課長)

以前は男女別に募集していたため、男女別の志願状況や受検者・欠席者の状況、合格の状況など様々な報告が男女別となっていたが、現在は男女別に調査する必要がないと考え、削除するもの。

(荒木委員)

例えば、商業高校では女子が多いため、今後の入学者確保の際に、男子に向けて広報していこう、など男女の別で学校の特徴をみることも今後もあるのではないか。その際には分かるようになっているのか。

(原岡学校教育課長)

各学校はそれぞれ把握できる状況にある。これまではその状況を県教育委員会に報告してもらっていたが、こちらでは必要ないと判断したもの。

(加藤委員)

出願手続きの写真を不要とした理由を教えてください。

(原岡学校教育課長)

出願書類の中に、別に写真票がある。検査当日は写真票と本人を照合し、本人確認を行うことができ、受検票にまで写真を求める必要がないため。

(牟田委員)

先程の飯盛(裕)委員の質問、原則、併設高に進学する話とは逆に、成績が悪い生徒であっても進学できるのか。

(原岡学校教育課長)

進学したいとの届け出を提出すれば進学し、辞退を提出すれば他のところに行くことができる。

(飯盛(清)委員)

高校の募集定員は昔から男女別はなかったのか。

(原岡学校教育課長)

どのくらい昔かは分からないが、男女別はなかった。

【付第 18 号議案】

令和 6 年度佐賀県立特別支援学校幼稚部、高等部及び専攻科入学者募集要項について

このことについて、議案書により近藤特別支援教育室長が次のとおり説明し、委員会は協議の結果、議案のとおり決定した。

(近藤特別支援教育室長)

県立特別支援学校の高等部及び専攻科の生徒募集について、障害のある生徒の社会的自立を最大限に実現するという視点に立ち、卒業後の社会生活に必要な力を培う教育の場を保障する必要があること、また、幼稚部では視覚障害や聴覚障害のある幼児に対し、早期から専門的な教育を行うことが障害による困難の改善・克服に極めて有効であることから、毎年度この時期に募集要項を制定し、県内中学校等に周知を図り、次年度の入学者募集が円滑に実施できるようにしている。

資料 18-2 をご覧いただきたい。主な変更点は、実施年度及び検査期日等の変更に伴う所要の整備の他、高等部募集の応募資格に係る様式について変更する。入学志願許可願書の提出の際、中原特別支援学校の病弱課程を志願する場合に添付を求める「診断書」について、高等部生徒が実際に治療を受けている医療機関の現状を踏まえた変更を行う。具体的には、資料 18-34 ページの様式 6 の入学志願許可願書の中段の注 3 にあたる。従前は、中原特別支援学校の病弱課程を志願する場合は、学校に隣接している独立行政法人国立病院機構東佐賀病院において入院又は継続して治療が必要である旨を示す診断書を添付することとしていたが、変更後は、この記述に加え、「又は、近隣の医療機関で継続して治療が必要である旨を示す主治医の診断書を添付すること。」とする。これにより医療機関を限定しないこととする。

なお、募集定員については、特別支援学校中学部や市町立中学校の特別支援学級の卒業予定者に対する進路希望調査や各県立特別支援学校への入学志願許可願書の提出状況を基に、本年 12 月末までに別途定めることとしており、その際は改めて付議する。以上、ご審議お願いしたい。

【主な質問等】

(飯盛(清) 委員)

幼稚部の視覚・聴覚に障害のある子どもについて、市町の子育てに関する機関への紹介の流れはどのようなものか。

(近藤特別支援教育室長)

当該要項については、市町の福祉主管課やこども未来課にも通知しており、盲学校・ろう学校でも医療機関に出向き紹介するなど周知を図っている。

(飯盛(清) 委員)

経験したことだが、耳の不自由な小学生の保護者が、自身が気付くのが遅くて申し訳ないとの気持ちが未だにあり、言葉を多く聞き、言葉がしっかり入ってくる時期に聞かせてあげられなかったということがあったため、質問したところ。

(近藤特別支援教育室長)

視覚・聴覚障害について、例えば小学校前までに視神経等がある程度形成されるため、幼児期の指導が非常に重要であり、できるだけ広く知っていただきたい。

【付第 19 号議案】

令和 6 年度県立高等学校及び特別支援学校高等部で使用する教科用図書について

このことについて、議案書により原岡学校教育課長が次のとおり説明し、委員会は協議の結果、議案のとおり決定した。

(原岡学校教育課長)

各県立学校では、教科用図書検討委員会を設けて教科書を選定し、選定結果を 7 月末までに県教育委員会に提出することとしており、それをまとめたものがお手元の選定教科書である。

資料 19-4 をご覧いただきたい。各学校とも学習指導要領の趣旨及び各教科の目標や内容を十分に踏まえて、県立学校においては、(1)①共通教科、②専門教科、③特別支援学校高等部のそれぞれにおいて各学校の教育目標、教育課程、生徒の進路に適した教科書を選定している。(2)各教科の研究員が教科用図書について専門的な観点から調査・検討を行っている。(3)生徒が一人一台端末を持っていることを踏まえて選定している。(4)学校には保護者代表や学校評議員または学校運営協議委員等も加えた検討委員会を設け、公正かつ適正な検討が行われている。

資料 19-5 をご覧いただきたい。教科書の選定理由等をいくつか紹介する。各学科に共通する教科、共通教科の「国語」について、小城高校では「評論の収録本数が多くテーマも多岐にわたり、様々な内容をバランスよく学べる。」との理由で選定している。「地理歴史」について、三養基高校では「資料が適切にまとめられ、単元ごとの探求課題や振り返りの構成も工夫されている。」との理由で選定している。

資料 19-7 をご覧いただきたい。専門学科において開設されている教科の「農業」について、唐津南高校では「コンピュータの利用方法及びアプリケーションソフトの活用方法など、本校の授業・実施内容に適している」との理由で選定している。「工業」について、鳥栖工業高校では「主体的・対話的で深い学びに対応した問題やこの教科の学びが、科目横断的な学びとして製図にも活用できる内容である。」との理由で選定している。

資料 19-8 をご覧いただきたい。特別支援学校高等部の教科書の選定結果の例となっている。特別支援学校の高等部では、文部科学省検定済教科書に加え、文部科学省著作教科書も多数選定している。「国語」について、「現代文は、現在人気のある作家作品から定番教材まで多様な文章が掲載されている。」ということで様々な文章に触れさせたいとの先生方の思いが反映されている。「地理歴史」について、うれしの特別支援学校では「概論に加えて追及事例があることで理解が深まるような構成になっている。」との理由で選定している。

資料 19-9 をご覧いただきたい。一般図書の選定結果を記載している。知的障害の

ある生徒を対象とした教科書で、生徒の興味・関心が高まることやわかりやすさの観点から選定している。中原特別支援学校の「国語」については「電話連絡の手順や手紙の書き方など、将来の生活に必要な知識や役立つ内容が示されている。」、「社会」については「社会の基本的な決まりや仕組みなどを重視した内容で構成されている。」、「数学」についても「実生活に沿った内容で構成されている。」と、学びやすい図書を一般図書として選定している。いずれにしても、各学校の教育目標、生徒の障害の程度に応じて、適切に選定している。以上、ご審議をお願いしたい。

【主な質問等】

(飯盛(清)委員)

高等学校の場合、教科書は自己負担なのか。

(原岡学校教育課長)

そのとおり。

(飯盛(清)委員)

授業料等については義務制と同じようになってきているが、教科書についてはそのような動きはあるのか。

(原岡学校教育課長)

そういった動きは今のところない。

(飯盛(清)委員)

結構な金額である。

(原岡学校教育課長)

定時制・通信制のアルバイト等している生徒については、教科書代を教育委員会から給付する事業を行っているが、全日制についてはない。

(飯盛(清)委員)

準用保護等受けている家庭であってもないのか、教科書に関して。

(内田教育総務課長)

学用品に関する支援は行っている。金額については、それぞれの世帯の兄弟の数などでも違ってくるが、多いところで年額10万円を超えるところもある。

(飯盛(清)委員)

個人的には高校からはお金を出して勉強している意識も大事であり、教科書代も徴収してよいと思うが、結構な金額であり、困っている家庭もあるのではないかとの思いから質問したところ。副読本も含めるとかなりの金額になっているのではないか。

(甲斐教育長)

世帯の経済状況によって制度がある。生活保護であれば生活保護の中から、低所得世帯であれば奨学給付金で学用品をみている。

(飯盛(裕)委員)

先週か先々週にニュースになっていたが、東京書籍の訂正箇所が1,200箇所く

らいあった教科書が廃版になった、地理歴史かの本だったと思うが。そういうのは県には影響なかったのか。

(原岡学校教育課長)

現時点では教科書を替えるという話はない。

(飯盛(裕)委員)

文科省の検定をすり抜けたようだが、間違いは多いのか。

(原岡学校教育課長)

採択後、実際に使用している際に見つかることもある。

【付第 20 号議案】

令和 6 年度使用県立特別支援学校小学部・中学部教科用図書の採択について

このことについて、議案書により近藤特別支援教育室長が次のとおり説明し、委員会は協議の結果、議案のとおり決定した。

(近藤特別支援教育室長)

県立特別支援学校の小学部・中学部で使用する教科用図書については、基本的には小学校・中学校と同様に検定済教科書を使用することになるが、児童生徒の障害の程度等により、著作教科書や一般図書を使用することができると規定されている。

今年度は、小学校の検定済教科書の採択の年となっている。一般図書については、毎年、採択することになっていることから、ご審議をお願いしたい。

各特別支援学校においては、県教育委員会が示した教科用図書選定の資料を活用して調査・研究が行われ、各学校の教育目標を踏まえ、児童生徒の障害の状態及び発達の段階や特性に最もふさわしい教科用図書の選定を行っている。

資料 20-3 をご覧いただきたい。各学校の小学部検定済教科書選定検討結果の一覧を示したもので、各学校の選定結果では◎で示され、「最も適しているとされた教科書」となっている。

資料 20-4 をご覧いただきたい。令和 6 年度以降使用県立特別支援学校小学部・中学部文部科学省著作教科書一覧になる。著作教科書については、文部科学省が作成しており、視覚障害者用、聴覚障害者用及び知的障害者用についてそれぞれ 1 種類ずつ発行されているため、令和 6 年度以降においても、その採択をお願いしたい。

資料 20-5 から 20-25 は、各学校の一般図書選定結果一覧になる。これら一般図書の主な採択理由については、資料 20-26 に示している。学習内容が系統的に盛り込まれていること、児童生徒に分かりやすく取り組みやすくなっていること、親しみやすく関心を引きやすくなっていることなどの視点から選定している。

資料 20-27 以降の参考資料について、一般図書については、佐賀県教育委員会で作成した「令和 6 年度使用一般図書一覧（佐賀県版）」に記載の図書から使用することとしている。また、併せて、資料 20-33 から 20-37 には、各学校で最も適しているとして選定した点字教科書と拡大教科書を掲載している。

資料 20-26 に記載しているが、児童生徒が年度途中で転入学した場合、各特別支援

学校において選定した一般図書の中から適切な図書を選定しがたい場合には、参考資料 1 の一般図書一覧や点字・拡大教科書の中から選定し、採択することとする。

以上、各学校の選定結果は適当であると考えてるので、資料 20-3 から 20-37 に掲載している検定済教科書、著作教科書、一般図書の採択をお願いしたい。

【主な質問等】

(飯盛(清)委員)

例えば、資料 20-5 の盲学校の一覧があるが、小学部・中学部は全て購入するのか。

(近藤特別支援教育室長)

児童生徒が教科に応じて供与される。来年度、盲学校で使う一般図書全てを掲載しており、児童生徒によって、この中からどれを使うか選ぶこととなる。

(飯盛(清)委員)

生徒の負担はないのか。

(近藤特別支援教育室長)

無償給与の対象となっている。

【付第 21 号議案】

令和 6 年度に県立夜間中学校で使用する教科用図書について

このことについて、議案書により原岡学校教育課長が次のとおり説明し、委員会は協議の結果、議案のとおり決定した。

(原岡学校教育課長)

来年度 4 月 1 日に開校する県立夜間中学校、彩志学舎中学校で使用する 16 種目の教科用図書について採択が必要となるため、ご審議をお願いしたい。

中学校での使用教科書について、教科用図書選定審議会に 6 月に答申された内容を踏まえて、中学校の検討委員会で選定。

選定報告の概要について、資料 21-4 をご覧いただきたい。(1)学校の教育目標を踏まえた教科書を選定。教育目標については資料 21-25 に掲載している。(2)夜間中学校の特色、いわゆる学び直しを含め、学びの状態に応じて教育できるような選定を行っている。検討委員会で慎重な審議を行った上で選定。検討委員会については資料 21-5 に委員一覧を掲載しており、7 月発令の彩志学舎中学校の教職員に、外部委員として佐賀大学教職大学院の教授も加わっていただき、検討を行ったところ。

検討結果については資料 21-6 以降に掲載している。◎が付いているものが「最も適している」と判断した教科書。「国語」については、光村図書の教科書で「生徒が学習の見通しをもつことができる」などを重視して選定。「書写」についても、光村図書の教科書で「学習内容が定着するよう工夫している」や「二次元コードを読み込むことで視聴できる動画資料を用意している」など ICT を活用した指導ができるような教科書を選定している。「社会 地理的分野」については、帝国書院の教科書で「基礎的・

基本的な学習内容の定着を図るとともに、身に付けた知識をもとに課題を追究することで生徒の思考力・判断力・表現力を高める構成となっている」、「実生活・実社会と関連付けられるよう工夫されている」など生徒の学びの状態に応じて教育できるような教科書の選定となっている。

資料 21-16 に選定結果一覧を掲載している。各教科 2 社ずつ掲載しているが、上段が「最も適している」と判断した教科書。国語は光村図書、書写も光村図書、地理は帝国書院、歴史も帝国書院、公民も帝国書院、地図帳も帝国書院、数学は啓林館、理科は学校図書、音楽の一般は教育芸術社、音楽の器楽合奏も教育芸術社、美術は光村図書、保健体育は学研、技術は開隆堂、家庭は教育図書、英語は光村図書、道徳は日本文芸出版、以上の発行者名のことを「最も適している」として選定した教科書について、ご審議をお願いしたい。

【主な質問等】

(加藤委員)

教科書について、夜間中学用の教科書なのか。

(原岡学校教育課長)

違う。

(加藤委員)

一般の教科書から採択するのか。

(原岡学校教育課長)

そのとおり。県立中学校や市町の中学校で選定されている教科書の中から夜間中学校での指導に最もふさわしいものを選定している。

(加藤委員)

日本語がまだ良く分らない生徒には副教材を付けるのか。

(原岡学校教育課長)

日本語指導の時間もある。日本語の勉強をしつつ、授業の中でもそういったものも使われると思う。

(飯盛(裕)委員)

昨日か一昨日のニュースで、森校長(県立夜間中学校)の話聞いた。外国籍の方も説明を聞きに来られており、日本の中学生が使う国語だと大変だろうとの印象を持った。今、本庄小学校では日本語特別授業が行われており、何度か視察したことがある。個別の指導がきちんとされると、時間はかかるだろうが、馴染んでいくのだろうと思った。元々日本人ではない方に対して、日本の教科書で学習させるのは大変だろうと思ったところ。私が逆の立場だったため、わからないドイツ語の教科書で勉強して、大変だった経験がある。スムーズな開校に繋がればよいと思う。

(4) 事務局報告

- ① 岡教職員課長は、令和5年度教育行政職員採用試験の結果について、資料に基づき次のとおり報告した。

(岡教職員課長)

資料1-1をご覧ください。佐賀県人事委員会が実施した教育行政職員採用試験のうち、特別枠、スポーツ特別枠が6月16日、大学卒業程度が8月3日に合格発表があったので、その概要について説明する。

特別枠については、最終合格者数3名に対し、41名が受験し、倍率13.7倍であった。またスポーツ特別枠については、最終合格者数1名に対し、4名が受験。大学卒業程度については、最終合格者数6名に対し、30名が受験し、倍率5.0倍であった。特別枠、大卒程度ともに合格枠は少ないが、多くの方に受験いただいた。優秀な人材確保のために、今後も引き続き公務員専門学校やガイダンス等での説明も行い、人事委員会とも連携しながら、積極的に教育行政職のPRを行っていきたいと考えている。

このほかに、障害者を対象とした大卒程度の採用選考試験を実施した。1名の採用予定であったが、最終合格者はいなかった。障害者対象の第2回を、12月上旬最終合格発表予定であるが、最終合格者数1名で再度実施したい。また社会人経験枠3名程度、高卒程度1名程度の採用試験・採用選考を今後行う。優秀な人材を多様な試験により確保していきたい。

【主な質問等】

(飯盛(裕)委員)

特別枠とスポーツ特別枠の条件はどうなっているのか。

(岡教職員課長)

どちらも特別な公務員試験対策は必要としておらず、民間企業を志望している方も受験しやすくしている。令和元年度から実施している。アピールシートで書類選考し、教養試験、論文試験、面接試験を行う。スポーツ特別枠については、世界レベルの大会出場、全国レベルの大会8位以上の成績を収めたことを条件としている。

- ② 江口保健体育課長は、令和5年度九州中学校体育大会結果について、資料に基づき次のとおり報告した。

(江口保健体育課長)

資料2-1をご覧ください。団体については、体操競技女子の田代中学校、剣道女子の神崎中学校、テニス男子の附属中学校が優勝。また3位までに入賞した団体が15団体。個人では、水泳競技、体操競技、新体操、バドミントンで6名が優勝。また3位までに入賞した個人が28競技種目であった。また全国中学校体育大会が8月25日まで開催されている。本県選手の活躍については、個人の競泳、飛び込み、団体では女子剣道が優勝を果たしている。

③ 内田教育総務課長は、次回定例教育委員会について、次のとおり報告した。

(内田教育総務課長)

次回定例教育委員会は、9月1日(金曜日)13時00分から開催する予定として
いる。委員の出席をお願いしたい。

(5) 議事

教育長は非公開を宣言した。

【付第22号議案】

教職員の人事について

このことについて、議案書により岡教職員課長が説明し、委員会は協議の結果、議
案のとおり決定した。

(6) 閉 会 11時19分

令和5年9月定例教育委員会資料

(令和5年9月1日)

報告事項

【公開】

佐賀県教育委員会

令和6年度全国高等学校総合体育大会(SAGAインターハイ)における
「佐賀県高校生活動」の概要について

1. 高校生活動の趣旨

大会においては、競技に出場「する」高校生のみならず、「支える」の観点から、高校生が積極的に大会の成功に向けて取り組む姿を全国にアピールする舞台となるよう、高校生の活動を推進する。活動に当たっては、地元の高校生が企画・準備・運営に自らの創意工夫をもって取り組めるよう、多様な活動の場を提供し、関係機関・団体等と連携を図り、推進するものとする。

2. 体制

佐賀県高校生活動推進委員会

総会〔職員14名〕	
会長	廣重 昭博（高体連副会長）
副会長	上赤 真澄（高文連会長）
委員	持永 雅之（高体連理事長） 岸川 大樹（実行委員会事務局） 選出校より10名

生徒委員会〔生徒20名+アドバイザー1名〕	
委員長	北方 心遥（唐津南高校）
副委員長	池田 ここな（有田工業高校） 徳富 愛音（佐賀学園高校）
委員	選出校より17名
アドバイザー	持永 雅之（高体連理事長）

<10校から各1名>



（地区・系列等を考慮）



<10校から各2名>

【佐城】	【三神】	【唐松】	【伊西】	【杵藤】
・佐賀東・佐賀学園 ・牛津・多久	・鳥栖商業 ・神埼清明	・唐津南 ・唐津商業	・有田工業	・佐賀農業

↑ 連携 ↓

協力 ↓ 要請 ↑

県内サポート校

・県高体連加盟校

佐賀県実行委員会

（事務局：全国高校総体2024推進チーム）

3. 活動方針

- SAGA2024 との連携を意識する。
- 高校総体としての独自性を打ち出す。
- 県内すべての高校がそれぞれの特色を生かして高校生活動に参画する。

4. 活動内容

- 自主的活動の企画立案
 - （例）大会PR活動（イベントでのPR、SNSによるPR等）
 - （例）おもてなし活動（会場装飾用の草花育成、総合案内所の運営、記念品の作成等）
 - 要請に基づく活動
 - 競技種目別大会の補助（運営補助、競技補助）
 - 競技種目別大会ポスター図案の制作
- ※ 内容に応じてサポート校の協力を得て実施又は、生徒委員会が直接実施する。

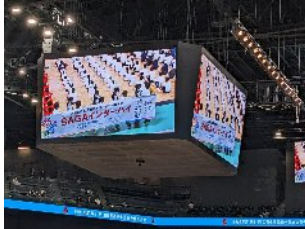
5. 活動状況

期 日	会議名等	主な議題等
R5. 4. 26	第1回総会	・活動方針 ・活動計画
R5. 5. 18	第1回生徒委員会	・生徒委員会の愛称 ・活動内容
R5. 5. 19	競技種目別ポスター	・募集開始（対象：サポート校等の生徒）
R5. 5. 26	県高校総体総合開会式	・生徒委員による行進、開会宣言、応援メッセージ
R5. 6. 12	第1回Webミーティング（生徒委員）	・ポロシャツ等のデザイン ・担当割 ・活動内容
R5. 7. 5	第2回Webミーティング	・ポロシャツ等のデザイン ・北海道総体視察
R5. 7～8	北海道総体視察（生徒委員）	・他道県高校生との交流 ・高校生活動視察
R5. 8. 24	北海道総体視察報告会	・県教育長（実行委員会会長）への報告

(1) 生徒委員会の愛称

「さがまる」に決定

(2) 県高校総体総合開会式



(3) 生徒委員の担当割、活動内容の検討状況（北海道総体視察前の時点での生徒委員のアイデア）

グッズ	<p>広報のためのグッズや、大会参加者への記念品のグッズについて、何を作るのか、どんなデザインにするのか、誰に作ってもらうのか、などを企画立案する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学校でパネルや応援フラッグの作製 ・佐賀県産の商品にオリジナルシールを貼る ・オリジナルグッズ作製 ・記念品を作る（タオル、うちわ、ステッカー、消しゴム、ファイルなど） ・ブラックモンブランのパッケージとコラボ ・応援Tシャツを作り、販売する ・かちまるのキーホルダーを作る
SNS/ メディア	<p>SNS やメディアを活用し、SAGA インターハイや「さがまる」についてPRしていくために立案計画する。（どんなメディアに出演するのか、何を発信するのか等） また、動画の制作や活用についても立案する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNS 及びメディアでの情報発信 ・実施競技がある高校でPR 動画の撮影 ・佐賀県内高校の紹介動画作成 ・新聞に記載（写真付き） ・30 秒ほどの動画を作る（TikTok 等） ・インターネットで紹介
イベント	<p>どんなイベントに参加（または主催）するのか、何をするのかなど、イベントの主催及び参加について立案計画していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有名声優さんにアフレコしてもらう ・カウントダウンイベント ・コラボして知名度を上げる ・県内イベントや各学校でのPR ・県内でイベントを主催する ・高校の部活動によるパフォーマンス
おもてなし	<p>大会参加者や応援に来た人、その他の来県者に対して、どんなおもてなしができるのかを考え、計画する。会場の装飾やのぼりの設置、総合案内所の設置運営、地域の美化活動など。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草花装飾 ・Tシャツを着て、いろいろな場所で掃除 ・除草清掃活動 ・競技会場および周辺マップ作製

(4) ポロシャツ等のデザイン

(前)



(後)



(5) 北海道総体視察

	第1班 (第2班と合流)	第2班	第3班
期 間	7月20日～7月27日	7月24日～7月27日	8月18日～8月21日
生徒委員参加人数	3名	6名	4名
視 察 先	他道県高校生との交流会 総合開会式 少林寺拳法競技 ソフトテニス競技 バスケットボール競技 空手道競技	バスケットボール競技 空手道競技	水泳(競泳)競技 バドミントン競技

※視察の様子



(6) 北海道総体視察報告会

○日 時：令和5年8月24日(木) 15:30～15:50

○報告者：委員長 北方 心遥 さん(唐津南高校)
副委員長 徳富 愛音 さん(佐賀学園高校)
アドバイザー 持永 雅之 さん(高体連理事長)

※報告会の様子



令和6年度佐賀県公立学校教員採用選考試験（秋選考）について

令和6年度佐賀県公立学校教員採用選考試験（秋選考）を、別添実施要項により実施します。

佐賀県公立学校教員採用選考試験（秋選考）は、今後の人事上の配置を見据え、多くの受験者を幅広く確保するため、昨年度から実施しており、今年度は、新たに「さがUJIターン現職特別選考」も実施します。試験期日・会場は、下記のとおりです。

なお、実施要項を佐賀県教育委員会のホームページで公表するとともに、8月18日（金曜日）から配布します。

記

1 令和6年度佐賀県公立学校教員採用選考試験（秋選考）の試験期日・会場

（1）一般選考

期日 令和5年11月18日（土曜日）～19日（日曜日）
試験区分 小学校教諭等
採用予定者 20名程度
会場 県立佐賀工業高等学校

（2）さがUJIターン現職特別選考

期日 令和5年11月19日（日曜日）
試験区分 小学校教諭等及び中学校教諭等
採用予定者 若干名
会場 県立佐賀工業高等学校

2 選考試験実施要項等の配付

（1）配布期間

令和5年8月18日（金曜日）～令和5年10月20日（金曜日）

(2) 配布場所

佐賀県教育委員会事務局 教職員課	佐賀市城内1-1-59 県庁旧館2F (TEL:0952-25-7212)
行政の窓口	佐賀市城内1-1-59 県庁新館1F (TEL:0952-25-7010)
東部教育事務所	佐賀市八丁畷町8-1 総合庁舎4F (TEL:0952-30-7218)
西部教育事務所	武雄市武雄町昭和265 総合庁舎2F (TEL:0954-23-3125)
西部教育事務所北部支所	唐津市二夕子3-1-5 総合庁舎1F (TEL:0955-73-1331)
佐賀県首都圏事務所	千代田区平河町2-6-3 都道府県会館11F (TEL:03-5212-9073)
佐賀県関西・中京事務所	大阪市北区梅田1-3-1-900 大阪駅前第一ビル9F (TEL:06-6344-8031)

- ※ 土曜日、日曜日の配布は、行政の窓口のみで行います。
- ※ 各大学の事務室等にも送付しておりますので、御確認ください。
- ※ 郵便で請求する場合は、宛先を明記し、140円切手を貼った角2封筒を同封してください。
- ※ 請求先 〒840-8570 佐賀市城内1丁目1番59号
佐賀県教育委員会事務局 教職員課
小中学校人事担当又は県立学校人事担当

3 受験申込みの受付

(1) 受験申込みの手続き

原則、電子申請（佐賀県電子申請サービス）でのみ受け付けます。

- ※ 特別な事情により、電子申請ができない場合は、教職員課へお問い合わせください。

[問い合わせ・受付場所]

〒840-8570 佐賀市城内1丁目1番59号

佐賀県教育委員会事務局 教職員課(県庁旧館2階)

電話0952-25-7212

(2) 受付期間

令和5年9月25日(月曜日)～10月20日(金曜日)午後5時まで

令和6年度佐賀県公立学校 教員採用選考試験（秋選考）

実施要項

出願書類受付	9月25日（月）～10月20日（金）17時まで 必着
選考試験	11月18日（土）～11月19日（日） さがUJI ターン現職特別選考は11月19日（日）
合格発表	12月8日（金） 予定

佐賀県教育委員会

一 般 選 考

第1 目的

この選考試験は、令和6年度に佐賀県公立学校教員として採用する候補者を決定するために実施する。

第2 受験資格

次の1～3に該当する者

- 1 昭和39年4月2日以降に出生した者
- 2 小学校教諭の普通免許状の所有者又は令和6年3月末までに取得見込みの者
- 3 地方公務員法第16条及び学校教育法第9条の欠格条項に該当しない者

第3 試験区分及び採用予定者数

試験区分	採用予定者数
小学校教諭等	20名程度

※ 採用された校種以外にも配置・異動となる場合がある。

※ 日本国籍を有しない者を任用する場合は、期限を付さない常勤講師とする。

第4 試験概要

- 1 期 日 令和5年11月18日(土)、19日(日)
- 2 会 場 佐賀県立佐賀工業高等学校：佐賀市緑小路1番1号 (TEL：0952-24-4356)
- 3 試験の内容

一般・教職教養試験	教育原理、教育心理、教育法規、人権教育、ICT教育関係、時事、英語、佐賀県に関すること、高校卒業程度の一般常識に関すること
専門試験	国語、社会、数学、理科、英語及び指導内容・方法等(全教科領域)
個人面接	試験時間は40分程度で行い、模擬授業(10分程度)を含む。 模擬授業のテーマを開始30分前に提示する。

- 4 集合時刻 8時40分 ※ 試験会場は7時45分に開場予定

5 日程

11月18日(土)

8:40～9:00	9:10～10:00	10:30～12:10	13:10～
諸注意 連絡	一般・教職 教養試験 (50分)	専門試験 (100分)	個人面接

11月19日(日)

8:40～
個人面接

※ 個人面接の集合時刻、場所については、11月上旬に受験番号と併せて佐賀県教育委員会ホームページに掲載する。

第5 各試験の配点、選考基準等及び評価の観点

1 配点について

一般・教職教養試験	専門試験	個人面接(内 模擬授業)
50点	200点	200点(30点)

2 選考基準について

- (1) 選考は二段階で行う。一般・教職教養試験の得点が基準(全受験者の平均点等により定めたもの)を満たした者を一段階通過者とする。この一段階通過者と一般・教職教養試験免除者を選考の対象とする。

(2) 専門試験及び個人面接の得点が基準（受験者の平均点等により定めたもの）に満たない場合には、不合格とする。

3 評価の観点について

- (1) 一般・教職教養試験は、教員として必要な教養知識が身についているかを評価する。
- (2) 専門試験は、教員として必要な教科等の基礎知識、専門知識及び技能等が身についているかを評価する。
- (3) 個人面接は、誠実さ、使命感、社会性、コミュニケーション力、意欲・行動力、課題解決力等を総合的に評価する。模擬授業は、授業の構成、表現力、態度等を総合的に評価する。

第6 受験申込の手続き及び受付期間

1 受験申込の手続き

※ 受験申込は、原則、電子申請（佐賀県電子申請サービス）でのみ受け付ける。

※ 電子申請を行うためには、以下の手順による「新規登録」と「ログイン」が必要。

- 佐賀県ホームページ → お役立ちページ → 申請・届出 → 電子申請サービスへ
または、右記のQRコードを読み取り、申請ページへアクセスする。



★ 利用者登録で「新規登録」

- ・利用者仮登録 → 利用者メールアドレスを入力 → 送信
- ・利用者本登録（24時間以内） → 利用者ID登録（必要情報を入力）

※ 利用者IDとパスワードは、以後の手続きでも必要なので、必ず控えておくこと。

★ 利用者登録で「ログイン」し、受験申込を行う。

- ・本登録が完了したら、再度、「申請・届出」からログインし、電子申請を行うこと。
- ・受付期間内に申込が完了しなかった場合は、受験できない。
- ・受付期間中は24時間申込を受け付けるが、保守点検作業等のため電子申請サービスを停止する場合があります。また、受付期間終了直前は、電子申請システムが込み合うことも考えられるため、余裕をもって申込をすること。

※ 佐賀県教育委員会ホームページにある電子申請マニュアルを参考に入力すること。

※ 特別な事情により、電子申請による申込ができない場合には、佐賀県教育委員会事務局教職員課人事担当に問い合わせること。（0952-25-7212：受付時間 平日8時から17時）

※ システムの操作で不明な点がある場合には、佐賀県電子県庁システムサービスデスクに問い合わせること。（0952-24-2151：受付時間 平日8時から20時）

※ 申請内容について不明な点がある場合には、佐賀県教育委員会事務局教職員課人事担当に問い合わせること。（0952-25-7212：受付時間 平日8時から17時）

2 受付期間

令和5年9月25日（月）から10月20日（金）17時まで

第7 一般・教職教養試験の免除及び申請

次のいずれかに該当する者は、一般・教職教養試験を免除する。（1）～（6）の項目に重複して該当する者は、いずれか一つで免除申請を行うこと。

なお、免除を申請する者は、免除申請書等を提出すること。詳しくは、「第10 提出書類」で確認すること。

- (1) 令和6年度佐賀県公立学校教員採用選考試験において第一次試験に合格した者
- (2) 小学校の専修免許状を有する者（令和6年3月末までに取得見込みの者も含む）
専修免許状の写し又は専修免許状取得見込証明書を提出すること。
- (3) 現に都道府県又は政令指定都市の公立学校で、正規の教諭、養護教諭、栄養教諭、実習助手又は寄宿舎指導員の職にある者
- (4) 都道府県・政令指定都市の公立学校の正規教員として3年以上（休職や育児休業等の期間を除く）の勤務経験を有する者
- (5) 以下のア及びイの両方の要件を満たす者
 - ア 令和5年4月1日から令和5年10月20日の期間内において、本県の学校に教職員として臨時的に任用された実績のある者
 - イ 過去5年間（平成30年度～令和4年度）において、本県の学校で教職員として通算24月以上の勤務経験を有する者ただし、非常勤講師又は非常勤職員としての勤務経験は、その在職期間に1/2を乗じて算出すること。
※ 本県の学校とは、佐賀県内にある県立学校、市町立学校、佐賀大学が設置する小・中・特別支援学校、私立中学校及び私立高等学校を指す。（専修学校、各種学校は含まない）
※ 教職員とは、常勤講師、非常勤講師、非常勤職員、臨時的事務職員、非常勤嘱託職員、支援員、会計年度任用職員など、学校に任用されているすべての者を指す。

※ 市町教育委員会、佐賀大学が設置する小・中・特別支援学校、私立中学校及び私立高等学校が任用した勤務経験を申請する者は、辞令書の写し又は所属長による在職証明書を提出すること。

※ 県・市町教育委員会、佐賀大学が設置する小・中・特別支援学校、私立中学校及び私立高等学校からの委託を受けた事業所が任用した勤務経験を申請する者は、辞令書等の写し及び委託契約が証明できる書類を提出すること。

(6) 民間企業等(教職以外)において、一つの職場で正社員又は正規職員として令和5年3月31日までに3年以上の勤務経験がある者(休職期間等、勤務の実態がない期間は含まない)

なお、試験合格者は、令和5年12月28日(木)までに在職証明書等を提出すること。在職の確認ができない場合は、採用候補者名簿から削除する。

第8 加点申請

1 特定資格等を有する者の加点申請

次に示す免許や資格を有する者には、選考に際して、20点を上限に加点を行う。ただし、英語力の申請については、いずれか一つとする。

加点項目	点数	提出書類
小学校教諭の専修免許状を有する者	10	免許状の写し又は免許状取得見込証明書
小学校教諭と中学校教諭の両方の免許状を有する者	10	
盲学校教諭、聾学校教諭、養護学校教諭又は特別支援学校教諭の免許状を有する者	10	
非常に高い英語力(下記のいずれか)を有する者 ・実用英語技能検定 1級合格 ・TOEIC 860点以上 ・TOEFL iBT 100点以上、CBT 250点以上又はPBT 600点以上	15	実施団体又は資格認定協会が発行する証明書等の写し
高い英語力(下記のいずれか)を有する者 ・実用英語技能検定 準1級合格 ・TOEIC 730点以上 ・TOEFL iBT 79点以上、CBT 213点以上又はPBT 550点以上	10	
英語力(下記のいずれか)を有する者 ・実用英語技能検定 2級合格 ・TOEIC 500点以上 ・TOEFL iBT 52点以上、CBT 150点以上又はPBT 470点以上	5	
公認心理師又は臨床心理士の資格を有する者	10	
学校図書館司書教諭の資格を有する者	10	修了証書の写し
日本語教育能力検定試験に合格した者	5	合格証明書の写し
3か月以上の海外留学経験を有する者(ただし、教育委員会が適当と認めるものに限る)	10	在籍や派遣活動を証明する書類の写し
青年海外協力隊、日系社会青年ボランティア又は在外教育施設現地採用職員として2年以上の経験を有する者	10	

2 スポーツ分野の実績加点申請

選手又は指導者として、(1)の加点対象競技において、(2)、(3)に該当する実績を有する者には、選考に際して加点を行う。ただし、(2)のア～ウの申請については、いずれか一つとする。

(1) 加点対象競技

陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ボート、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、卓球、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、カヌー、ソフトテニス、軟式野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、空手道、ソフトボール、バドミントン、ライフル射撃、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、弓道、アーチェリー、なぎなた、剣道、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン、銃剣道、クレール射撃、スキー、スケート、アイスホッケー
--

(2) 加点項目及び項目ごとの点数

	加点項目	点数	提出書類
ア	国際規模の競技会で日本代表として出場した者又は直接の指導者(オリンピック・パラリンピック競技大会、ユニバーシアード競技大会、アジア競技大会等)	20	申請するレベルに応じ、実績を証明する書類(賞状・記録証の写し、主催団体が発行する成績証明書、大会結果収録の写し等)
イ	全国規模の競技会で4位以上の成績を収めた者又は直接の指導者	15	
ウ	全国規模の競技会で8位以上の成績を収めた者又は直接の指導者	10	

- ※ 全国規模の競技会とは、国民体育大会・全国障害者スポーツ大会及び日本スポーツ協会又は日本オリンピック・パラリンピック委員会の加盟団体が主催する全日本選手権大会等とする。
- (3) 加点の対象は、平成30年4月1日～令和5年10月20日の期間の実績とする。
ただし、中学校・高等学校在学時の選手としての実績は除く。

3 その他

- (1) 上記 1、2 それぞれの加点申請に該当する場合には、併せて申請を行うことができる。
- (2) 希望する加点項目については、電子申請で該当する項目に☑を入れること。
- (3) 虚偽の内容を申請した者は、採用内定後であっても内定を取り消すことがある。

第9 大学院等進学希望者及び大学院等在籍者の特例申請

大学院等進学希望者又は大学院等在籍者で採用候補者名簿に登載された者が、教員としての能力及び資質の向上を目的として大学院等での修学を希望する場合、採用候補者名簿登載期間を延長して修学を保障する。採用候補者名簿登載期間を最大2年間延長し、大学院等の修了及び専修免許状の取得を条件に採用する。(大学院等には専修免許状を取得できる専攻科をもつ学部等が含まれる)

1 申請に必要な資格

- (1) 大学院等進学希望者の場合
小学校教諭の専修免許状が取得できる大学院等を令和5年度中に受験する者
- (2) 大学院等在籍者の場合
小学校教諭の専修免許状を取得見込みの者

2 申請手続き等

- (1) 受験申込時に、電子申請「大学院特例申請」の項目で、「希望する」を選択すること。
- (2) 試験合格後、希望者は、選考結果通知に同封の「名簿登載期間の延長願」を作成し提出すること。併せて、大学院等在籍者は、大学院等の「在籍証明書」を提出すること。大学院等進学希望者は、入学試験の結果発表後、速やかに合格通知書等の写しを提出すること。
- (3) 県教育委員会は、延長の可否について、申請者に通知する。

3 その他

- (1) 延長を許可された者は、大学院等の修学に専念して専修免許状を取得すること。
- (2) 申請した者が大学院等へ進学しなかったり、上記条件を満たすことができなかったりした場合には、採用内定後であっても内定を取り消すことがある。

第10 提出書類

1 提出・準備

	提出書類	備考
ア	受験票	受験番号は、11月上旬に佐賀県教育委員会ホームページに掲載する。到達番号を入力し、受験票をプリントアウトすること。
イ	写真票	縦4.5cm、横3.5cm（パスポートサイズ）の写真を貼付する。台紙の厚さは問わない。
ウ	履歴書	履歴については、パソコン入力でも自筆でも可とする。ただし、受験申込者氏名は、プリントアウトした後、 自署 すること。
エ	自己PR	テーマに沿って、自己PRを記入する。記入については、パソコン入力でも自筆でも可とするが、1ページに収めること。
オ	教育職員免許状の写し又は大学等が発行する教育職員免許状取得見込証明書	免除申請や加点申請の必要書類として提出する者は、重ねて提出しなくてよい。
カ	試験結果通知用封筒	長形3号（縦23.5cm、横12cm）の封筒を準備する。封筒への記入内容は、次頁の【記入例】を参照すること。 ・封筒に「住所」「氏名」「郵便番号」を記入すること。 ・封筒の表の左に「簡易書留」と記入し、 404円切手 を貼ること。
キ	講師登録申込書	講師登録を希望する者のみ提出する。

- (1) アは、受験番号検索シートから作成すること。
 (2) イ～エ及びキは、佐賀県教育委員会ホームページから様式をダウンロード、必要事項を記入し、プリントアウトすること。
 (3) アの書類は、試験当日に持参すること。
 イ～キの書類は、**10月20日(金)まで**に、郵送(必着)または持参すること。

【郵送先】※ 簡易書留にて送付
 〒840-8570 佐賀市城内一丁目1番59号
 佐賀県教育委員会事務局 教職員課人事担当 宛



【カ 記入例】

2 免除申請・加点申請者が提出するもの

	提出書類	備 考
ク	一般・教職教養試験免除申請書	免除申請者は必ず提出すること。必要に応じて免除となることが証明できる書類を提出する。
ケ	加点項目を証明する書類	特定資格等を有する者の加点、スポーツ分野の実績加点の申請者が提出する。

- (1) クについては佐賀県教育委員会ホームページから様式をダウンロード、必要事項を記入し、プリントアウトした後、**自署**すること。
 (2) 申請者は、**10月20日(金)**までに、必要書類を郵送(必着)または持参すること。

3 その他

- (1) 改姓等により、提出する書類(免許状や証明書等)の氏名が現在と異なる場合は、戸籍抄本等、氏名の変更が確認できる書類を併せて提出すること。
 (2) 書類を教職員課宛に郵送する際は、封筒裏面に到達番号を記入すること。

第11 選考結果の通知

- 1 選考の結果は、受験者全員に郵送により文書で通知するとともに、合格者の受験番号を佐賀県庁の掲示板に午前9時に掲示する。
 <発表予定> **12月8日(金)**
 佐賀県ホームページ及び佐賀県教育委員会ホームページにおいても、合格者の受験番号を発表日の午前9時から一ヶ月間掲載する。ただし、必ず通知文書又は県庁の掲示板で確認すること。
 [佐賀県ホームページアドレス] <https://www.pref.saga.lg.jp/>
 [佐賀県教育委員会ホームページアドレス] <https://www.pref.saga.lg.jp/kyouiku/>
 2 不合格者に対しては、各試験の得点及び成績ランクを通知する。**通知を希望しない者**は、受験申込時に「成績開示希望」で「希望しない」を選択すること。

第12 合格発表から採用まで

- 1 合格者は、採用候補者名簿に登載する。同時に合格者には採用内定を通知する。なお、名簿登載の有効期間は、令和7年3月31日までとし、原則として令和6年4月1日から令和7年3月31日の間に採用する。
 (「第9 大学院等進学希望者及び大学院等在籍者の特例申請」において許可された者は除く)
 2 名簿登載期間中に、以下の事項に該当する場合は、採用候補者名簿から削除する。
 (1) 提出書類等の記人事項に虚偽があることが明らかとなった場合
 (2) 選考を受ける資格を欠いていることが明らかとなった場合
 (3) 令和6年3月31日までに合格した試験区分の普通免許状を取得できなかった場合
 (4) 教員としての適性を欠くことが明らかとなった場合

特別選考（さがUJI ターン現職特別選考）

第1 目的

小学校・中学校・義務教育学校の現職教員において、実務経験に裏付けされた優れた能力と意欲のある者を採用するために実施する。

第2 受験資格

次の1～4に該当する者

- 1 昭和39年4月2日以降に出生した者
- 2 受験する試験区分の普通免許状を所有している者
- 3 地方公務員法第16条及び学校教育法第9条の欠格条項に該当しない者
- 4 現在、佐賀県以外の都道府県・政令指定都市の公立学校で正規教員（小学校教諭等・中学校教諭等）として勤務している者

第3 試験区分及び採用予定者数

- 1 小学校教諭等・中学校教諭等において、選考試験を実施する。
- 2 採用予定者数は、小学校教諭等、中学校教諭等とも若干名とする。

第4 試験概要

1 第一次選考 第一次選考は書類選考とする。

2 第二次選考

- (1) 期 日 令和5年11月19日（日）
- (2) 会 場 佐賀県立佐賀工業高等学校 佐賀市緑小路1番1号（TEL：0952-24-4356）
- (3) 試験の内容
第二次選考は個人面接とする。試験時間は40分程度で行い、模擬授業（5分程度）を含む。模擬授業のテーマを、開始20分前に提示する。
- (4) 日 程
 - ・ 個人面接は、8時40分から開始する。
 - ・ 集合時刻等は、受験者本人に第一次試験の結果と併せて通知する。
- (5) 配点及び評価の観点
 - ① 配点について
面接は200点とし、そのうち模擬授業を50点とする。
 - ② 評価の観点について
個人面接は、使命感、社会性、コミュニケーション力、課題解決力等を総合的に評価する。模擬授業は、授業の構成、表現力、態度等を総合的に評価する。

第5 受験申込の手続き及び受付期間、提出書類

- 1 受験申込の手続き及び受付期間は、P2. 一般選考「第6 受験申込の手続き及び受付期間」によるものとする。
- 2 提出書類は、P4～P5 一般選考「第10 提出書類 1 提出・準備、3 その他」によるものとする。なお、本特別選考は一般選考にある加点申請の対象としない。

第6 選考結果の通知から採用まで

- 1 選考結果は、郵送により文書で通知するとともに、合格者の受験番号を佐賀県庁の掲示板に午前9時に掲示する。また、佐賀県ホームページ及び佐賀県教育委員会ホームページにおいても、合格者の受験番号を発表日の午前9時から一ヶ月間掲載する。 <発表予定> **12月8日（金）**
- 2 合格者は、令和5年12月28日（木）までに在職証明書を提出すること。在職の確認ができない場合は、採用候補者名簿から削除する。合格者は、採用候補者名簿に登載する。同時に合格者には採用内定を通知する。名簿登載の有効期間は、令和7年3月31日までとし、原則として令和6年4月1日から令和7年3月31日の間に採用する。

【留意事項】

- 1 私立学校及び他県の公立学校に勤務している者で、本県の公立学校教員を希望する者は、佐賀県公立学校教員採用選考試験を受験すること。
- 2 受験の際の配慮希望等があれば、電子申請の「受験上の配慮」の欄に記入するとともに、佐賀県教育委員会事務局教職員課小中学校人事担当に連絡すること。
- 3 申込受付後は、いかなる理由があっても書類は返却しない。なお、申込時に申請・登録された情報は採用選考以外には利用しない。
- 4 携帯電話やタブレット等、メールやインターネット機能のある機器を試験会場の敷地内で使用しないこと。
- 5 試験当日は、試験会場への自動車の乗り入れを禁止する。試験会場前や周辺での自動車の乗り降りは交通混雑の原因となり他に多大な迷惑をかけることとなるので、厳に慎むこと。また、近隣のスーパー等に駐車して迷惑をかけることがないようにすること。
- 6 試験当日は、各自上履きを持参すること。
- 7 試験会場となる学校の敷地内では喫煙しないこと。
- 8 試験会場近くには食堂等が少ないので、必要に応じて、各自昼食の準備をすること。
- 9 試験中のけが等について、会場では応急処置のみを行うので、各自万一の事態に備えるほか、必要に応じて、保険に加入するなどの準備を行うこと。

※ 自然災害等により、やむを得ず日程や実施方法等を変更する場合があります。
教員採用選考試験に関する連絡は、佐賀県教育委員会のホームページ上で行いますので、
随時確認をお願いします。

[佐賀県教育委員会ホームページアドレス] <https://www.pref.saga.lg.jp/kyouiku/>



【インフォメーション】

☆ 福利厚生

採用と同時に公立学校共済組合の組合員となります。また、教職員互助会にも入会できます。

- ・ 本人や扶養家族が病気や負傷した場合、安心して治療することができます。
- ・ 出産、病気等に伴う各種の給付金制度があります。
- ・ 病気休職・育児休業補償の制度があります。
- ・ 人間ドック等の検診事業の制度があります。
- ・ 必要な場合には、低利融資が受けられる各種の貸付金制度があります。
- ・ 全国各地に宿泊施設があり、安い料金で利用できます。この他にも、数多くの制度等があります。

☆ 勤務条件

給与制度（令和5年4月1日現在）

初任給は、237,536円（修士）、216,736円（大学卒）、192,400円（短大卒で小・中・義務教育学校に配属となった場合）です。この金額には教職調整額（本給の4%）が含まれます。昇給は、原則年1回です。

諸手当

期末・勤勉手当、義務教育等教員特別手当、へき地手当、通勤手当、扶養手当、住居手当などがあります。

災害補償制度

地方公務員災害補償制度では地方公務員が公務上の災害または通勤途中における災害を受けその災害によって生じた負傷、疾病、障害又は死亡という身体上の損害（物的損害や精神的な障害を除く）を被災職員の過失の有無にかかわらず、使用者の責任において補償します。

佐賀県教育委員会事務局 教職員課 人事担当

住所 〒840-8570 佐賀市城内一丁目1番59号 電話 0952-25-7212

※ 試験当日の急な連絡や問い合わせは、試験会場に行うこと。

全国中学校体育大会

競技	日程	開催地	種別等	成績	選手・学校	備考
水泳	R5.8.17	香川県：香川県立総合水泳プール	男子200m平泳ぎ	優勝	野中 龍生	金泉中
			男子100m平泳ぎ	優勝		
水泳	R5.8.19		男子3m飛板飛込	優勝	若林 皇希	城東中
剣道	R5.8.18		女子団体	優勝	大和中	
	R5.8.19		男子団体	2位	神崎中	
	R5.8.20	愛媛県：愛媛県武道館	男子個人	2位	鶴 侑磨	神崎中
	R5.8.20		女子個人	2位	牛嶋 柚希	神崎中

令和5年9月定例教育委員会
事務局報告事項 保健体育課

全国高等学校総合体育大会 上位入賞（ベスト4以上）一覧

競技	日程	開催地	種別等	成績	選手・学校	備考
レスリング	R5.7.28	北海道：北海道立真駒内公園屋内競技場	男子団体	優勝	鳥栖工業	
	R5.7.30		男子個人55キログ級	3位	河野 兼多朗	鳥栖工業
			男子個人65キログ級	3位	松原 拓郎	鳥栖工業
			男子個人71キログ級	3位	伊藤 海里	鳥栖工業
			男子個人92キログ級	優勝	楠木 元起	鳥栖工業
ソフトボール	R5.8.1	北海道：はまなす国体記念石狩市スポーツ広場	女子	3位	佐賀女子	
剣道	R5.8.6	北海道：帯広市総合体育館	女子団体	3位	三養基	
	R5.8.9		男子個人66キログ級	2位	田中 龍希	佐賀商業
柔道	R5.8.11	北海道：北海道立総合体育センター	女子団体	優勝	佐賀商業	
			女子個人63キログ級	優勝	清水 優陸	佐賀商業
	R5.8.12		女子個人78キログ級	優勝	中野 弥花	佐賀商業
			女子個人78キログ超級	優勝	井上 朋香	佐賀商業
ウエイトリフティング	R5.8.11	北海道：士別市総合体育館	女子45キログ級クリーン&ジャーク	2位	松尾 環那	
新体操	R5.8.12	北海道：真駒内公園屋内競技場	男子団体	2位	神埼清明	

全国高等学校定時通信制体育大会 上位入賞（ベスト4以上）一覧

競技	日程	開催地	種別等	成績	選手・学校	備考
柔道	R5.8.6	東京都：講道館	女子個人63キログ級	優勝	畑瀬 千愛妃	佐賀北

第105回全国高等学校野球選手権大会結果

- 出場校 鳥栖工業高等学校（初出場）
- 会場 阪神甲子園球場（兵庫県西宮市）

1回戦【第1試合（8:00～）】

- 期日 8月9日（水）
- 対戦校 富山商業高等学校（9年振り17回目）
- 結果 [1塁側・後攻] [3塁側・先攻]

鳥栖工業 3 - 2 富山商業

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
富山商業	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
鳥栖工業	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1×	3

全国高等学校野球選手権大会において、10年ぶりに一回戦を突破

2回戦【第1試合（8:00～）】

- 期日 8月14日（月）
- 対戦校 日本大学第三高等学校（2年連続19回目）
- 結果 [1塁側・先攻] [3塁側・後攻]

鳥栖工業 1 - 3 日大三

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
鳥栖工業	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
日大三	1	0	0	0	0	1	0	1	×	3

特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」競技会会期

式典	会場地	式典会場	競技日程													
			10月													
			7 土	8 日	9 月	10 火	11 水	12 木	13 金	14 土	15 日	16 月	17 火			
総合開会式	鹿児島市	白波スタジアム(鹿児島県立鴨池陸上競技場)	●													
総合閉会式																

正式競技

競技名	種別	会場地	競技会場	競技日程													
				10月													
				7 土	8 日	9 月	10 火	11 水	12 木	13 金	14 土	15 日	16 月	17 火			
陸上競技	全種別	鹿児島市	白波スタジアム(鹿児島県立鴨池陸上競技場)									●	●	●	●	●	
サッカー	成年男子	志布志市	志布志運動公園陸上競技場							●	●		●				
			しおかぜ公園多目的広場						●	●							
	少年男子	南さつま市	OSAKO YUYA stadium							●	●		●	●			
			加世田運動公園多目的広場							●	●	●					
	少年女子	霧島市	吹上浜海浜公園運動広場							●	●	●					
			国分運動公園陸上競技場								●		●	●			
テニス	成年男女 少年男女	鹿児島市	東開庭球場		●	●	●	●									
			鹿児島県立鴨池庭球場		●	●	●	●									
ホッケー	全種別	薩摩川内市	丸山自然公園人工芝コート		●	●	●	●		●							
			薩摩川内市榎脇屋外人芝競技場		●	●	●	●		●							
ボクシング	成年男子 少年男子 成年女子	阿久根市	阿久根総合運動公園総合体育館		●	●	●	●		●							
					●		●	●	●								
バレーボール	6人制	成年男子	いちき串木野市	いちき串木野市総合体育館		●	●	●	●								
		成年女子	鹿屋市	平和公園串良平和アリーナ		●	●	●	●								
		少年男子	鹿児島市	南栄リース桜島アリーナ(桜島総合体育館)		●	●	●									
				西原商会アリーナ(鹿児島アリーナ)					●								
バスケットボール	成年男子	始良市	ビーラインスポーツパーク始良体育館							●	●	●	●				
			ビーラインスポーツパーク始良体育館									●	●				
	少年男子	薩摩川内市	薩摩川内市総合運動公園総合体育館(サンアリーナせんだい)							●	●	●	●	●			
			いちき串木野市	いちき串木野市総合体育館							●	●	●	●			
サーリング	全種別	鹿児島市	鹿児島市平川特設サーリング会場		●	●	●	●									
ウエイトリフティング	成年男子 少年男子 女子	薩摩川内市	薩摩川内市入来総合運動場体育館							●	●	●	●	●	●		
													●	●			
ハンドボール	全種別	霧島市	霧島市国分体育館		●	●	●	●		●							
			霧島市溝辺体育館		●	●	●	●		●							
			霧島市横川体育館		●	●	●										
			霧島市隼人体育館		●	●											
			霧島市立国分中央高等学校精華アリーナ		●	●											
自転車	ロード・レース	成年男子 少年男子 女子	錦江町 鹿屋市 肝付町 南大隅町	大隅広域特設ロード・レースコース											●		
	トラック・レース	成年男子 少年男子 女子	南大隅町	鹿児島県根占自転車競技場					●	●	●	●					
ソフトテニス	全種別	鹿児島市	東開庭球場								●	●	●	●			
卓球	全種別	鹿児島市	あいハウジングアリーナ松元(松元平野岡体育館)							●	●	●	●	●			
軟式野球	成年男子	鹿児島市	平和リース球場(鹿児島県立鴨池野球場)								●	●	●	●			
			鴨池公園野球場(鴨池市民球場)										●				
		出水市	ブルーチップスタジアム(出水市総合運動公園野球場)								●	●					
		薩摩川内市	薩摩川内市総合運動公園野球場									●	●				
			日置市伊集院総合運動公園野球場									●	●	●			
日置市	日置市東市来運動公園湯之元球場									●		●					
相撲	成年男子 少年男子	奄美市	奄美市名瀬運動公園サンドーム								●	●	●				
馬術	成年男子 成年女子 少年	霧島市	霧島市牧園特設馬術競技場					●	●	●	●	●					
フェンシング	全種別	垂水市	垂水中央運動公園体育館		●	●	●	●									
柔道	成年男子 少年男子 女子	鹿児島市	西原商会アリーナ(鹿児島アリーナ)									●	●	●			

正式競技

競技名	種別	会場地	競技会場	競技日程													
				10月													
				7 土	8 日	9 月	10 火	11 水	12 木	13 金	14 土	15 日	16 月	17 火			
ソフトボール	成年男子	南九州市	諏訪運動公園陸上競技場		●	●	●										
	少年男子		知覧平和公園陸上競技場		●	●	●										
	少年女子		知覧平和公園多目的球場		●	●	●										
	成年女子	指宿市	開聞総合グラウンド		●	●	●										
バドミントン	全種別	指宿市	指宿総合体育館								●	●	●	●			
弓道	近的	出水市	出水市総合運動公園特設弓道会場								●	●	●	●			
	遠的									●	●	●					
ライフル射撃	50m	鹿児島市	鹿児島県ライフル射撃場		●	●	●										
	10m		鹿児島県ライフル射撃場		●	●	●	●									
	BR, BP	少年男子 少年女子	ハートピアかごしま		●	●	●										
	25m	成年男子	始良市 鹿児島県警察学校		●	●	●										
剣道	全種別	霧島市	霧島市牧園アリーナ		●	●	●										
ラグビーフットボール	成年男子	鹿児島市	鹿児島県立サッカー・ラグビー場			●	●										
	女子							●	●								
	少年男子	さつま町	北薩広域公園かぐや姫グラウンド 北薩広域公園運動広場		●	●		●	●								
スポーツクライミング	リード	南さつま市	南さつま市加世田特設スポーツクライミング会場		●	●	●										
	ボルダリング				●	●	●										
カヌー	スプリント	伊佐市	伊佐市菱刈カヌー競技場								●	●	●	●			
	スラローム	成年男子 成年女子	湧水町 湧水町轟の瀬特設カヌー競技場									●	●	●			
	ワイルドウォーター										●			●			
アーチェリー	全種別	鹿児島市	鹿児島ふれあいスポーツランド運動広場									●	●	●			
空手道	全種別	薩摩川内市	薩摩川内市総合運動公園総合体育館 (サンアリーナせんだい)		●	●	●										
銃剣道	成年男子 少年男子	霧島市	霧島市立国分中央高等学校精華アリーナ									●	●	●			
なぎなた	成年女子 少年女子	枕崎市	枕崎市立総合体育館									●	●	●			
ボウリング	全種別	鹿児島市	サンライトゾーン		●	●	●	●	●								
トライアスロン	成年男子 成年女子	天城町	天城町特設トライアスロン会場		●												

正式競技（会期前実施競技）

競技名	種別	会場地	競技会場	競技日程											
				9月											
				16 土	17 日	18 月	19 火	20 水	21 木	22 金	23 土	24 日			
水泳	競泳	全種別	鹿児島市 鴨池公園水泳プール								●	●	●		
	飛込	全種別				●	●	●							
	水球	少年男子			●		●	●							
		女子				●	●	●							
	アーティスティックスイミング	少年女子			●										
オープンウォータースイミング	男子 女子	屋久島町	屋久島町一湊海水浴場特設オープンウォータースイミング会場			●									
ローイング	全種別	鹿屋市	鹿屋市輝大ダム特設ローイングコース							●	●	●	●		
バレーボール	ビーチバレーボール	少年男子 少年女子	大崎町 大崎町ビーチスポーツ専用競技場	●	●	●	●								
体操	競技	全種別	西原商会アリーナ(鹿児島アリーナ)							●	●	●	●		
	新体操	少年女子		●	●										
	トランポリン	男子 女子				●									
レスリング	成年男子 少年男子 女子	日置市	日置市吹上浜公園体育館							●	●	●	●		
ゴルフ	成年男子	霧島市	霧島ゴルフクラブ					●	●	●					
	少年男子		溝辺カントリークラブ					●	●	●					
	女子	始良市	鹿児島高牧カントリークラブ					●	●	●					

特別競技

競技名	種別	会場地	競技会場	競技日程													
				10月													
				7 土	8 日	9 月	10 火	11 水	12 木	13 金	14 土	15 日	16 月	17 火			
高等学校野球	硬式	—	鹿児島市 平和リース球場(鹿児島県立鴨池野球場)		●	●		●									
	軟式	—	出水市 ブルーチップスタジアム(出水市総合運動公園野球場)		●	●		●									